樹幹注入剤
ジノテフラン液剤

ウッドスター®

農林水産省登録　第２３６２４号
性状：淡黄色澄明水溶性液体
毒性：普通物（毒物及び劇物に該当しないものを指していう通称）
危険物： 非該当
有効年限：４年
包装：４５０ｍℓ×２

有効成分：ジノテフラン(化管法第１種)・・・・・8.0％

殺虫剤分類　４Ａ

ウッドスター®はサンケイ化学（株）の登録商標です。

特長

○優れた注入性
本剤は、極めて少ない注入量で処理時の注入性を向上することにより、注入作業を時間短縮、大掛かりな散布器具や注入容器も不要で、省力化にお役立ていただけます。

○樹木への負担が小さい
極めて少ない注入量で、樹体への影響を最小限にとどめます。これまで評価した樹木で、薬害が観察された事例はありません。

○安全性
薬液の飛散・環境流出が少ない樹幹注入剤です。有効成分ジノテフランは、人畜・ 魚類・鳥類に対して毒性の低い成分です。

○効果が長期持続
本剤は、処理適期の１回処理で対象害虫の当年発生を抑えます。少ない注入量でも薬液が樹体内に行きわたり効果を発揮します。

○広い殺虫スペクトル
本剤を各種害虫発生前～発生初期に樹幹注入することにより、速やかに有効成分ジノテフランが葉部へ行き渡り、公園、街路樹等の食葉性・吸汁性の主要害虫を中心に優れた殺虫効果が得られます。

適用病害虫名及び使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
樹木類 （つばき類を除く）	ケムシ類	胸高直径 ６cm～１０cm：　８～１２ｍℓ １０cm～２０cm：１２～２４ｍℓ ２０cm～３０cm：２４～３６ｍℓ ３０cm～４０cm：３６～４８ｍℓ ４０cm～５０cm：４８～６０ｍℓ ５０cm～６０cm：６０～７２ｍℓ 以降、直径が１０cm増す毎に１２ｍℓを追加する	幼虫発生前 ～発生初期 但し 新葉展開後	３回以内	樹幹注入	５回以内
アメリカフウ さくら	イラガ類	胸高直径 ６cm～１０cm：　８～１２ｍℓ １０cm～２０cm：１２～２４ｍℓ ２０cm～３０cm：２４～３６ｍℓ ３０cm～４０cm：３６～４８ｍℓ ４０cm～５０cm：４８～６０ｍℓ ５０cm～６０cm：６０～７２ｍℓ 以降、直径が１０cm増す毎に１２ｍℓを追加する	幼虫発生前 ～発生初期 但し 新葉展開後	３回以内	樹幹注入	５回以内
さくら	クビアカツヤ カミキリ	注入部直径 ６cm～１０cm：　８～１２ｍℓ １０cm～２０cm：１２～２４ｍℓ ２０cm～３０cm：２４～３６ｍℓ ３０cm～４０cm：３６～４８ｍℓ ４０cm～５０cm：４８～６０ｍℓ ５０cm～６０cm：６０～７２ｍℓ 以降、直径が１０cm増す毎に１２ｍℓを追加する	新葉展開後 ～落葉前まで	３回以内	樹幹注入	５回以内

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
つばき類	チャドクガ	注入部直径 ６cm～１０cm：２mℓ １０cm～２０cm：２～１２mℓ ２０cm～３０cm：１２～１８mℓ ３０cm～４０cm：１８～２４mℓ ４０cm～５０cm：２４～３０mℓ ５０cm～６０cm：３０～３６mℓ 以降、直径が１０cm増す毎に６mℓを追加する	幼虫発生前～発生初期	３回以内	樹幹注入	５回以内 （株元灌注は２回以内）
プラタナス	プラタナスグンバイ	胸高直径 ６cm～１０cm：２mℓ １０cm～２０cm：２～１２mℓ ２０cm～３０cm：１２～１８mℓ ３０cm～４０cm：１８～２４mℓ ４０cm～５０cm：２４～３０mℓ ５０cm～６０cm：３０～３６mℓ 以降、直径が１０cm増す毎に６mℓを追加する	新葉展開後	３回以内	樹幹注入	５回以内
ぶな	ブナハバチ	胸高直径 ６cm～１０cm：２mℓ １０cm～２０cm：２～１２mℓ ２０cm～３０cm：１２～１８mℓ ３０cm～４０cm：１８～２４mℓ ４０cm～５０cm：２４～３０mℓ ５０cm～６０cm：３０～３６mℓ 以降、直径が１０cm増す毎に６mℓを追加する	新葉展開直前	３回以内	樹幹注入	５回以内

使用上の注意事項

●使用量に合わせ秤量し、使いきってください。

●他剤との混用はさけてください。

●樹幹の胸高直径または注入部直径が適用表に記載のない小径木や樹勢の弱った木、空洞や腐朽がある木、極端な老齢木には使用をさけてください。

●適用表の小径木に使用する場合は、専用の注入補助器を挿入し使用、若しくは所定量を２孔以上に分散させてください。

●対象木が二股以上に分かれている場合は薬剤が問題なく分散する様にそれぞれを１本の木と見なして所定量を注入してください。

●薬剤注入孔は、ドリル等を用いて注入部位に斜め下方向に４５度の角度で開けてください。

●薬剤の注入部位は以下の樹種、適用病害虫によって設定してください。

〇樹木類（つばき類を除く）、さくら、アメリカフウ、プラタナス、ぶなに使用する場合は、主幹部の地上高５０～１００cmを標準としてください。

〇つばき類に使用する場合は、主幹部の地上高１０～３０cmを標準としてください。

〇クビアカツヤカミキリに使用する場合は、胸高直径により注入量を決定し、注入部位は主幹部の地際部を標準としてください。

〇クビアカツヤカミキリに使用する場合は、すでに被害が認められている樹（多量のフラスが確認されている樹)は薬剤が分散しにくい場合があるので、クビアカツヤカミキリの食入孔をさけ注入してください。

●薬剤の注入孔（直径、深さ）、注入量は以下の樹種、適用病害虫によって設定してください。

〇樹木類（つばき類を除く）、さくら、アメリカフウに使用する場合は、直径５～１０mm、深さ６～７cmの注入孔を開け、専用注入器を用いて１孔当たり４mℓを注入してください。なお、注入孔直径１０mm未満で使用する場合は、必ず専用の注入補助器を注入孔に挿入し使用してください。

〇つばき類のチャドクガ、プラタナスグンバイに使用する場合は、直径５～７mm、深さ６～７cmの注入孔を開け、専用注入器を用いて１孔当たり２mℓを注入してください。なお、注入孔直径７mm未満で使用する場合は、必ず専用の注入補助器を注入孔に挿入し使用してください。

〇ぶなに使用する場合は、直径５～７mm、深さ３～５cmの注入孔を開け、専用注入器を用いて１孔当たり２mℓを注入してください。なお、注入孔直径７mm未満で使用する場合は、必ず専用の注入補助器を注入孔に挿入し使用してください。

●本剤の使用時期は、以下の樹種、適用病害虫によって設定してください。

〇樹木類（つばき、マツを除く）に使用する場合は、落花直後や展葉初期には薬剤が分散しにくいので、落花終了後の新葉が十分に展開した後に注入してください。

〇樹木類（マツ）に使用する場合は、注入時期により、樹脂流失による注入不良が発生するおそれがあるので、注入孔を開けたら直ちに薬剤を注入してください。なお、樹脂流出の異常なマツや、枝葉が変色したマツには使用しないでください。

〇プラタナスに使用する場合は、落葉期や整枝剪定後の展葉初期には薬液が分散しにくいので、新葉展開後に注入してください。

〇ぶなに使用する場合は、新葉の展開直前に注入することをおすすめします。

〇ケムシ類、イラガ類、チャドクガ、クビアカツヤカミキリを対象として使用する場合は、幼虫発生前に薬剤を注入することをおすすめします。

○チャバネアオカメムシを対象として使用する場合は、成虫飛来前（５～６月）に注入してください。

●注入孔は癒合剤等で穴を塞ぐなど適切な処理を行ってください。特に地際部で使用した場合は降雨による土壌等の進入のおそれがあるため、必ず処理を行ってください。

●本剤は処理した後に得られる花、葉、果実、種子等は食用に供しないでください。
●本剤を処理した樹木をきのこ類のほだ木など栽培用に使用しないでください。
●ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
〇開花期はミツバチ等に影響を及ぼすおそれがあるので、落花終了後に使用してください。
〇関係機関（都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
●本剤は自動車、壁等の塗装面、大理石や御影石等に薬剤が付着すると変色するおそれがあるので、こぼさないように注意してください。
●本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は関係機関、関係技術者等の指導を受けてください。
●適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお関係機関、関係技術者等の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意事項

●街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後（少なくとも使用当日）に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

水産動植物に係る注意事項

●水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがありますが、この登録に係る使用方法では問題ありません。容器の洗浄水、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管に関する注意事項

●直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく冷涼で子供の手の届かない場所に密封して保管してください。